



中之町幼稚園だより

令和8年10月号
港区立中之町幼稚園
園長 酒井 正美

雨の日が続く9月でしたが、ホールや廊下、テラスを活用しながら、様々な遊びが展開されています。運動会に向けての取組では、赤坂中学校体育館をお借りし、毎日のように体を動かす遊びを楽しんできました。設備の整った広い体育館を日常的に使用できること、慣れ親しんだ体育館で運動会を実施できることは、大変恵まれた環境であると感じます。



今年度は、5歳児年長組と赤坂小学校5年生の児童が交流を重ねています。体育館への移動中、中学校校舎に教室がある5年生から、「がんばってね。」「またね。」と声を掛けられるほほえましい場面が見られました。いろいろな人と関わり親しみをもつことは、人と関わる力を育てることにつながります。地域の中の幼稚園として、地域や地域の方々、赤坂学園の児童、生徒との交流の機会を積極的に取り入れていきたいと思います。

幼稚園では、子供たちに毎日元気に登園し、楽しくたくさん遊んでほしいと願っています。しかし、「元気に」「楽しく」というのは、もちろん、自分だけが楽しく、好き勝手にやりたい放題なことをするというものではありません。

幼稚園教育において育みたい内容が、小・中学校の学習指導要領にあたる「幼稚園教育要領」に示されています。その中に「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の一つとして、「道徳性・規範意識の芽生え」という項目があります。

○他の幼児と様々な体験を積み重ねる中で、してよいことや悪いことがあることが分かり、考えながら行動するようになっていく。

○相手の気持ちに共感したり、相手の視点から自分の行動を振り返ったりして、考えながら行動する姿が見られるようになる。

○きまりを守る必要性が分かり、友達と一緒に心地よく生活したり、より遊びを楽しんだりするために、自分の気持ちを調整し、友達と折り合いを付けながら、きまりをつくったり、守ったりするようになる。

幼児には難しいことのように感じられるかもしれませんが、幼稚園の遊びや生活の中には、これらの育ちにつながる出来事が日々繰り広げられています。運動会の様子からも育ちつつある姿が見られることでしょう。可愛らしい姿に声援を送ると共に、学級の友達や幼稚園の取組の中で成長をしているお子さんの姿を見取り、次への成長へと支えていてあげましょう。